

天川村南日裏定住促進住宅

この住宅はU・I・Jターンの子育て世代のご家族を対象としており、村外から初めて天川村にいらっしゃる入居者の方に、村での暮らしを満喫して頂ける様に、古くからある村ならではの住まいの在り方を参考にして様々な工夫を取り込んだ設計としています。

○菜園

なかなか都市の住宅ではチャレンジできない本格的な家庭菜園を楽しめます。

○外部水栓

庭や菜園で汚れたものはここで洗えます。

○納屋

天川村の四季の特色から、納屋空間を設けました。夏場は心地よい半屋外空間として、冬場は風除室やサンルームとして利用し、雪や雨の日でも洗濯物を干せたり、庭やレジャーで楽しんだ後の汚れ物を置いて置いたり村でのアクティビティをより一層楽しむ事ができます。

○庭に開けたつくり

天川村の伝統的な住まいと同様に谷間側に開かれたプランとしており、庭との一体利用がしやすくなります。都市の住宅地ではなかなかできないBBQや、縁側としての利用を楽しむ事ができます。窓下の大きな石は、実は敷地の中から発掘されたもの！

○住戸塀

明確な境目はなく、高さの違いや植栽帯によりプライバシーを守りつつも隣の住戸や周辺と緩やかに繋がります。お互いのコミュニケーションにより公園の様に広々とした敷地一体を楽しんでいただけます。

○敷地境界

南日浦地区集落の一員として暮らして頂くため、周辺地域と同様に塀やフェンスを過剰に設置せず、地域に馴染みつつも程よく開けた敷地としています。入居者の方々に地域の方々と心地よい関係を築いて頂ければと思います。

○LDK空間

一見同じに見える住宅ですが、室内の梁は3つの住戸で全て異なり、それぞれ異なるLDK空間となっています。住居空間に多様性があることで同じ場所で暮らす3家族が心地よい関係性を築く事ができます。

○植生

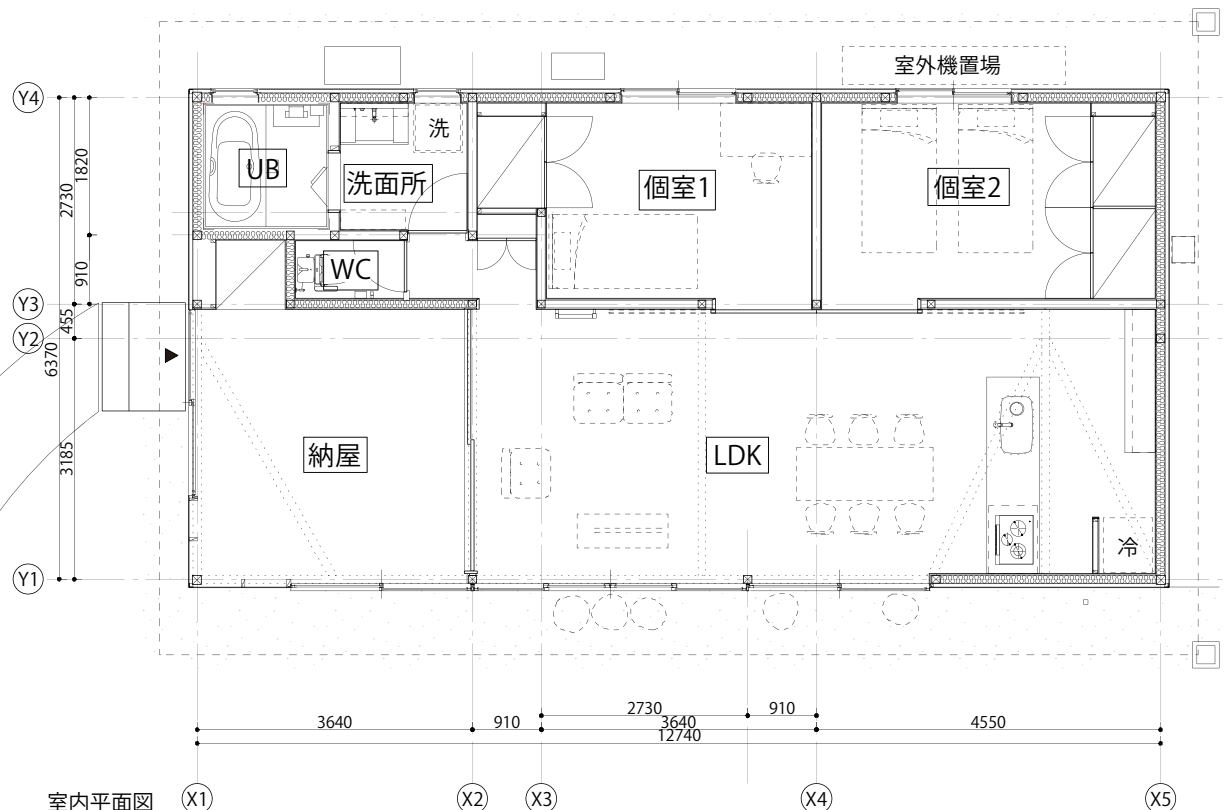
村でよく見られる石垣には四季折々の植物が植生しており自然な風景を作り出しています。敷地内にもススキ・ヒガンバナ等のやわらかな印象の種類を植え、四季の移り変わりを身近に感じる事ができます。また、敷地内の芝生の以外にも、周辺からは様々な種類の草花が飛んで来て、天川村らしい植生が展開されます。

○水路

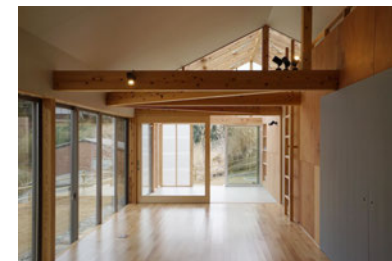
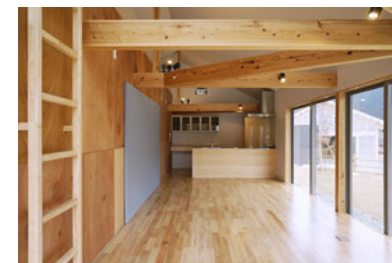
村内でも多く見られる生活用水の利用を参考にし、敷地内に水路をとりこみました。敷地裏の山の方から水が流れてきおり天候による雨量の変化を身近に感じる事ができます。水辺で水遊びを楽しんだり、水溜まりは菜園用の水汲みに活用できます。



納屋の様子



室内平面図
S=1/100



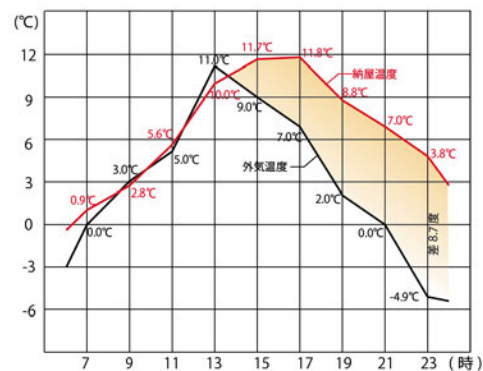
LDKの様子

納屋について

冬場は熱を取り込みやすく夏は熱を逃がし易いつくりとしています。

気温上昇のシュミレーションによると、冬期午後～夜にかけて、急激に低下する外気温に対し、納屋内部では上昇した温度が緩やかに下降します。空調機器を使用することなく比較的暖かい時間帯が長く続くことで、冬期における洗濯物干しや作業場としての有効利用が大いに見込めます。

また、夏場は陸梁上部に遮熱シートを設置することで、直射日光を反射するとともに、上方に滞留した熱気を高所窓により外部に抜く事で、外気温同様の温度環境に抑えることができます。中間期は居住者の利用方法に合わせてその効果をコントロールし、一年中利用できる使い勝手の良い場所となります。



冬期、納屋における温度上昇のシュミレーション(右)と、その変化(左)(1月21日想定)

